

誌 蜀 湖

龍谷大学校友会報
滋賀県支部会報
第3号
2025年9月1日
発行



2025年度支部総会を開催

2025年7月12日に、施設整備事業がほぼ完了し、景色が一変した深草キャンパスで支部総会を開催しました。

総会では、長上深雪支部長の挨拶の後、大学を代表して安藤真次郎文学部長、校友会を代表して小

濱聖明校友会理事からご挨拶をいただきました。そして、事務局から2024年度の事業報告及び決算報告と2025年度の事業計画及び予算について報告しました。

続いて、校友で落語家の月亭天使さんによる落語会を開催しま

した。快活な天使さんの噺に会場の笑いが絶えませんでした。

落語会の後は、キャンパスツアーを行いました。新棟の慧光館に掲げられた校友会や各学部同窓会から寄贈された巨大な陶版画を見学し、南北エリアをつなぐ結連橋を渡って顕真館の隣に建てられた灯炬館を見



月亭天使 落語会

学しました。灯炬館では、るの森やテラスなど学生がくつろげる多くのスペースに感心の声があがっていました。

見学の後は、体育館北側に建てられた間思館のフードコートに会場を移し、純米吟醸龍谷のお酒で乾杯し、豪華な料理に舌鼓を打ちながら、落語会を担当していただいた月



支部入会のご案内

誕生してまだわずかの支部ですが、まずは会員を増やすことが目標です。校友のみならず、お誘い合わせのうえ、ご入会をお待ちしております。

入会については、支部のホームページをご覧ください。

<https://www.ryukoku-shiga.com>



【特別寄稿】
支部総会で落語を披露していただいた月亭天使さん（文学部卒）が支部会報のために特別に寄稿していただきました。

先日、龍谷大学校友会滋賀支部の集まりに呼んで頂きました。別の支部の方が私の落語をオススメしてくださったそう。滋賀支部の方とはメールでのやり取りのみだったので、前日まで、滋賀支部＝瀬田学舎での開催やと勝手に思い込んでいた私。前日、今まで頂いたメールを読み返すと、深草学舎で開催されると書かれていました。（セーフ！）

卒業後、何回か訪問したことはありますが、深草学舎は10年以上ぶり。そういえば、大学時代、入学前に、キャンパスでの集まりがあり（入学式の何日前に開催されたはず）、阪急河原町駅から京阪四条駅に降り立った私は、それまでの人生で、ほぼ京阪電車に乗ったことがなかったのに、ホームに入ってから来た電車に直感的に飛び乗り、深草とは逆方向へ向かいました。そして、その上、深草に向かうために乗り直した電車

久しぶりに会った恋人が別嬪になっていたみたいなお話。月亭天使

れるものだと、文学部哲学科哲学専攻卒らしく納得しているうちに龍谷大深草駅に到着。

駅が綺麗になってるのは想定内でしたが、階段を降りて、ふと、向かう方向を見ると、コロラドコーヒールと会議室みどりが!! 懐かしい!! 大学の時のまま!! と感激いたしました。しかし、校舎に向かうと衝撃の出来事!!



スターバックスは、以前

訪問した際にもあったと思うのですが、学園紛争を匂わせる15号館16号館もすっかりなくなっているではないですか。ここはどここの大学? と混乱しつつも、メールに「以前の紫朋館と学食の場所で開催します」と書いてあったので、そちらに足を運びました。そういえば、キャンパス



から第一軍道を渡ろうとした時、何もなかったところで足首を捻って、左足の靭帯がブチ切っていたなあ。人生の中で痛かったベスト3に入る痛みやったなあ。と大学三年の冬のことを思い出しながら、昔のコンクリートの建物を想定していたのに。ない!! 全然、コンクリじゃない!! 何、このおしゃやれな建物!! まるで、まだ化粧なんかしていなかった元彼女が都



ど、その時は、安室奈美恵とかが流行ってたのです。泣きながら、友人の下宿（コーポ墨染）に行き、最終的に友人と爆笑したなあと思いきい笑いつつ、会場へ到着しました。

落語は、すぐく喋りやすい高座をご用意いただき、また、皆さん笑ってくださいだったので、楽しく終えることができました。その後、懇親会にも参加させて頂きましたが、同年代の方の参加も多く、いろんな昔話に花を咲かせることができました。

建物は変わってしまったけど、私の思い出は変わることがないので、

新しい龍谷大学に驚きつつ、郷愁の中の龍谷大学を探訪しに、深草学舎へ来ていただきたいと思います。（支部の集まりも待ってまーす）

※写真もご本人からの提供です。



皆様に、ぜひ、残っていました。



月亭天使さん15周年イベント開催!
9/22-28 天満天神繁昌亭